

編集後記



梅雨の合間のさわやかな風とやわらかい光は、とても心地よいものです。木々の緑も色濃くなってきました。その中で、先端基礎研究交流棟が人々を待ち受けているように姿を現しました。6月18日には引越しが終わって、安岡弘志新センター長を中心に多くのグループが一堂に集まることになります。いままで研究室が分散していただけに、今後の集積効果、相乗効果が楽しみです。また新しい活動の始まりです。(Y.M)